

①中期財政見通しによる97億円の累積収支マイナス → ②第2次改革工程表による改革改善の取組実施により99億円を解消 → ③累積収支は2.5億円のプラス

①中期財政見通し…行財政改革を実施する前の試算 (単位: 億円)

区分	30年度	31年度	32年度	33年度
歳入				
地方税	288.7	289.3	287.1	282.7
実質的な地方交付税※1	303.6	298.3	295.7	298.5
うち合併算定替	7.6	3.9	0.9	-
国・県支出金	318.1	349.5	331.4	335.2
地方債	95.0	152.5	98.6	106.8
うち臨時財政対策債	43.8	42.9	42.5	43.0
その他	220.0	215.0	217.6	204.7
計(A)	1,181.7	1,261.8	1,187.9	1,184.9
歳出				
人件費	182.7	179.6	179.5	179.4
社会保障関係費	420.5	432.0	440.7	449.1
公債費	126.4	115.9	117.5	116.8
うち元金償還金	116.3	105.7	106.0	104.7
普通建設事業費	140.1	226.0	168.5	169.5
その他	317.9	327.9	310.1	312.6
計(B)	1,187.6	1,281.3	1,216.3	1,227.5
単年度収支(A)-(B)	△ 5.9	△ 19.6	△ 28.4	△ 42.6
累積収支	△ 5.9	△ 25.5	△ 53.9	△ 96.5
財源調整2基金残高	93.2	71.4	39.6	△ 1.0
地方債残高	1,018.3	1,065.1	1,057.6	1,059.7
プライマリーバランス※2	21.3	△ 46.8	7.4	△ 2.1

③中期財政計画…行財政改革を実施した後の試算 (単位: 億円)

区分	30年度	31年度	32年度	33年度
歳入				
地方税	291.2	292.2	290.0	285.9
実質的な地方交付税※1	301.7	296.2	293.6	296.1
うち合併算定替	7.6	3.9	0.9	-
国・県支出金	318.1	349.5	331.4	335.2
地方債	95.0	152.5	98.6	106.8
うち臨時財政対策債	43.8	42.9	42.5	43.0
その他	222.6	221.4	228.4	222.3
計(A)	1,184.8	1,268.8	1,199.5	1,203.3
歳出				
人件費	182.0	177.8	175.1	174.0
社会保障関係費	420.5	432.0	440.7	449.1
公債費	126.4	115.9	117.5	116.8
うち元金償還金	116.3	105.7	106.0	104.7
普通建設事業費	139.1	225.1	167.6	168.6
その他	315.5	319.6	297.1	293.5
計(B)	1,183.5	1,270.4	1,198.0	1,202.0
単年度収支(A)-(B)	1.3	△ 1.6	1.5	1.3
累積収支	1.3	△ 0.3	1.2	2.5
財源調整2基金残高	100.4	96.7	94.7	98.0
地方債残高	1,018.3	1,065.1	1,057.6	1,059.7
プライマリーバランス※2	21.3	△ 46.8	7.4	△ 2.1

②第2次改革工程表における効果額…行財政改革の実施による効果額試算

※内は第2次改革工程表のページ番号 (単位: 億円)

区分	30年度	31年度	32年度	33年度	合計	合計の内訳
歳入						
地方税	2.5	2.8	2.8	3.3	11.5	経済成長・企業誘致税収増加11.47<<P35>>
実質的な地方交付税※1	△ 1.9	△ 2.1	△ 2.1	△ 2.4	△ 8.6	税収増加に伴う普通交付税減少△8.61<<P35>>
うち合併算定替	-	-	-	-	-	
国・県支出金	-	-	-	-	-	
地方債	-	-	-	-	-	
うち臨時財政対策債	-	-	-	-	-	
その他	2.5	6.4	10.9	17.6	37.4	受益者負担改訂0.39<<P33>>、遊休財産の管理運用・処分3.56<<P39>>、税外収入の確保1.2<<P36>>、債権管理の計画的推進0.77<<P38>>、基金活用31.44<<P41>>
計(A)	3.2	7.1	11.6	18.4	40.2	
歳出						
人件費	△ 0.7	△ 1.7	△ 4.4	△ 5.5	△ 12.3	定員管理の適正化△11.68<<P20>>、特殊勤務手当の検証・見直し△0.65<<P22>>
社会保障関係費	-	-	-	-	-	
公債費	-	-	-	-	-	
うち元金償還金	-	-	-	-	-	
普通建設事業費	△ 0.9	△ 0.9	△ 0.9	△ 0.9	△ 3.7	財源配分の重点化△3.7<<P35>>
その他	△ 2.4	△ 8.3	△ 13.0	△ 19.1	△ 42.8	スクラップアンドビルド徹底△20.4<<P10>>、補助金等の検証・見直し△9.86<<P11>>、定員管理の適正化(民間活用経費)4.67<<P20>>、適正な財政規模是正△3.19<<P33>>、財源配分の重点化△8.0<<P35>>、公共施設適正配置等△6.0<<P43>>
計(B)	△ 4.1	△ 10.9	△ 18.3	△ 25.5	△ 58.8	
単年度収支(A)-(B)	7.2	18.0	29.9	43.9	-	
累積収支	7.2	25.3	55.1	99.0	-	
財源調整2基金残高	7.2	25.3	55.1	99.0	-	
地方債残高	-	-	-	-	-	
プライマリーバランス※2	-	-	-	-	-	

※1「実質的な地方交付税」は、地方交付税と臨時財政対策債の合計額 ※2「プライマリーバランス」は、公債費元金償還額から地方債発行額を差引いた額